

校歌作曲者 畑儀文さん来校

篠山出身のテノール歌手である畑さんは、21 年前本校の校歌を作曲してくださいました。畑さんと一緒に活動しておられる城村さんもピアノ伴奏者としてきてくださいました。

みなさんは、篠山が生んだ有名な音楽家の方だと知っていましたか？ NHK のシャキーンのテーマ曲を歌っていると知り、初めてびっくりしていましたね。そんな作曲者の前で、校歌を歌い、直接ご指導たまわりました。すごいことです！合唱と同じように、歌詞の意味を考えて、それを想像して歌うように教えていただきました。この校歌は、「弾むようにおおらかにゆったり歌ってほしい」とおっしゃったので、これからはそれを意識して歌っていきましょう。また、この校歌を作るのに、ずっと歌詞をカバンの中に入れてながら、



2 ヶ月も掛けて、みんなが歌いやすいのはどのような曲か、「こだます」という言葉を活かすにはどんなメロディがいいか、ラストは盛り上げてかっこよくしよう・・・等々この校歌に対する思いも聞きました。またプロの歌を目の前で聞かせていただき、声の出し方の違い、声の良さなど聞いていて、ゾクゾクしました。私も 8 年間、東中学校で働



かせてもらい、「この校歌、素敵だなあ。」と思いながら歌っていましたが、それを作った方の思いを直接伺えて、またその方が歌う校歌まで聴かせていただき、本当に素敵な時間を過ごしました。

文化祭感想①

あっという間に文化祭から一週間が経ちました。たくさんの先生方から、お褒めの言葉や感想を聞いて、自分たちのがんばりに対する評価をいただきましたね。せっかくのがんばりを、せっかくの高評価を下げないように、次の目標に向けてがんばりましょう！

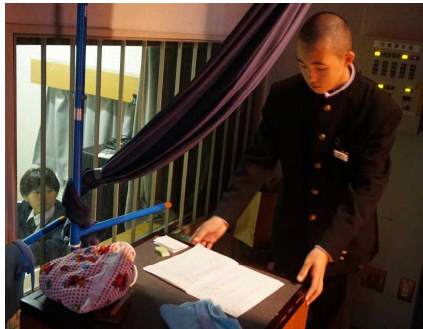
() (照明リーダー／男声) 合唱の取り組みは家で、曲に合わせて歌う練習をした。みんな



で歌っている時は、自主的に「ここをこうしよう」などの声を出すことができた。演劇では、家でも台本をしっかり読んで、シュミレーションをすることができて、特に先生に指摘されたところは練習をして、ミスをしなかった。本番ではミスをしなくて、ピンスポも上手に当てることができたと思います。文化祭では、今まで練習してきたことを精一杯出すことができて、少し安心しています。スキー学校に向けて、自分から積極的に行動して、自立することのできるクラスになっていきたいと思います。



() (照明／アルトパートリーダー) 合唱練習では、始め自分たちで進められなかったり、時間を有効に使えず、先生に注意されることが多かったけど、だんだん自分たちでできるようになって、心を一つにできたことがうれしいです。演劇では、自分の役割を果たそうとしていたのがいいと思いました。また、自分の仕事ではなくても手伝ったり、意見を言えるようになったと思います。少しでも練習時間を増やそうと、早めに移動することができ



ました。今まで準備してきたことが精一杯出せたと思います。小学校とは違い、自分たちで進めることが多かった気がします。でもその分、自分たちでやったという気持ちは大きいです。でも、2, 3年生はそれを越えていました。今はまだ無理だろうけど、来年、再来年にはクラスとして成長して、2, 3年生を越えたいと思いました。



() (照明／アルト) 文化祭を終えて思うのは、今までの中で一番良かった合唱と劇だったことです。一人ひとりが一つのものを作ろうと一生懸命歌ったり、気合いが入っていて感動しました。クラスも誰かが指示を出した時、みんなが話を聞けたり「これ持つわ」などお互いに助け合えたことが成長したと思います。3年生の歌は迫力があり、演劇は涙目になるくらい感動しましたが、1年生のレベルも今回の文化祭を通し、UP↑↑したと思います。



() (照明・幕／男声) 合唱ではあまり大きな声が出せなかったけど、やっているうちにみんなの声がだんだん大きくなって、自分もやろうと思って少しずつ意識をしていると、大きな声が出せるようになって良かったです。照明では、早すぎても遅すぎてもダメなので、タイミングを合わすのがとても難しかったです。文化祭はみんなで一から作り上げるから、本番とても緊張していたけど、練習どおりにできたので良かったです。そして、ホッとしています。クラスは、誰かが重たそうに荷物を運んでいると「持とか？」と声を掛けることができいて、協力する心が成長していると思います。これからメリハリをつけて、学校生活を送りたいです。



でも、少しですが、声を掛けられたので良かったです。合唱は気持ちよく歌えました。みんなで、さらに一つのEARTHになれました。

() (小道具・衣装／ソプラノ) 合唱は昼休みや音楽の時間に、音のきたないところを早く直せていたので良かったです。当日は自信を持って歌えました。演劇では、どのような道具を作ればいいのか迷いました。でもみんな、だんだんメリハリがつけられたり、時間に余裕を持って行動できていました。練習期間は短くても、その分準備を早くして、本番に焦らずに済んだので、演劇も合唱も成功したんじゃないかなと思いました。もう一度、文化祭をしたいと思います。



() (小道具・衣装／ソプラノ) 合唱練習では、大きな口を開けること、声を大きくすること、楽しく歌うことを意識してがんばりました。当日はとても楽しく歌えました。小道具は、劇に使ってもらいながら修正して、係3人で協力し合って、がんばりました。全部完成した時「ホッ」としました。クラスは時間が間に合うようになってきたところが、成長したと思います。今までだったら、時間ギリギリまで「次何があるっけ？」と慌てていたけど、そういうことが少なくなってきました。文化祭では、協力したら大きくなれることを初めて知りました。一人ひとりががんばり、心を一つにすることで、成功できることを知りました。とても良かったです。

